

## 第43回若手研究者・院生情報交換会のお知らせ

テーマ：実践的社会福祉調査論 ―経験から学んだリサーチ・リテラシーの共有―

昨今、統計解析ソフトの普及もあり、調査・分析方法の選択肢は大きく広がりました。しかしながら、個々の研究者にとって常に重要なのは、数ある方法の中から自分の研究テーマに最も適した方法をいかに選択し、そして使いこなすかということです。そしてこの部分は、研究者自らが試行錯誤を重ね、習得していくしかありません。その過程で大いに参考になるのが、実際に調査を行った他の研究者の経験に耳を傾けることだと思います。

今回の企画では、社会福祉の研究者数名に、量的・質的調査の経験について、エピソードを交えて語ってもらいます。各パネリストが語った個人的経験を通して、参加者の方がご自身の研究に応用できるヒントを得ることを目指し、この場を企画しました。

前半のパネル討論では、発題者より調査票の作成から調査の実施・回収、データ分析における工夫や失敗、また、その後の投稿論文で査読者から指摘を受けたことなどを発表し、2人のパネリストの経験談も交えながら、実践的リサーチ・リテラシーについて討論します。

後半は、参加者からの質疑応答とクロストークを通して活発な意見交換の場を設けます。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：2018年12月22日（土） 14：00～17：00（参加費無料）

※終了後、懇親会の開催を予定しています。

場所：同志社大学 今出川キャンパス 良心館4階 RY408教室

京都市営地下鉄「今出川」駅下車 北改札口より「同志社大学連絡口」を出てすぐ

【第1部】14：00～15：45 パネルディスカッション

テーマ：「実践的社会福祉調査論 ―経験から学んだリサーチ・リテラシーの共有」

- ・発題者（兼コーディネーター） 樽井 康彦（龍谷大学 准教授）
- ・パネリスト 與那嶺 司（神戸女学院大学 教授）
- ・パネリスト 増田 和高（武庫川女子大学 講師）

【第2部】16：00～17：00 質疑応答・クロストーク・意見交換

【懇親会】17：30ごろ～大学付近の会場で予定しています。会費は4,000円、院生の方は2,000円程度の予定です。

参加希望者は、[tarui@soc.ryukoku.ac.jp](mailto:tarui@soc.ryukoku.ac.jp)（樽井康彦）宛に、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無をご記入の上、12月14日（金）までにお申し込みください。